

「温故知新」

人との出会いは不思議なことがあります。新しい出会いと言っても、電子メール（以下、メール）や手紙のやり取りだけです。5月に長崎で研修会があり、その時の資料の中にあつた詩を見て、ぜひ研修会で活用させていただけないかと出版社を通じて、作者と連絡を取り合いました。詩には、大阪で親や兄弟の反対を押し切って、被差別部落出身者と結婚をされていたことが書かれていました。その詩を研修で活用させていただくようお願いしたので。私の仕事や連絡先を伝えると、作者から返事のメールが届き、詩を活用することを承諾していただきました。メールをやり取りするうちに、なん

tomon i kiru

とその人は、北多久生まれで、その後お父さんの仕事の関係で大阪に住まわれたことがわかりました。多久にはお墓参りに年に一度は来られていることをお聞きしました。偶然とはいえ、多久とのつながりがあることに不思議な縁を感じました。

現代においては、友人・知人との情報交換はメールが多くなったことも事実ですし、何ととっても、短時間で相手に伝えることや返事を受け取ることができません。でも今回、パソコンが不調になりメールができなくなったこともあり、その人と手紙のやり取りがありました。そこには、人柄や思いなど一緒に伝わってくるものがありました。「故きを温ねて、新しきを知る」ことにつながるかと感激しました。

社会教育指導員 木村 博重

市交際費の支出状況

平成29年7月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔 慰	今月分	1	3,000
	累計	7	49,200
見 舞 い	今月分	0	0
	累計	2	20,000
御 祝	今月分	8	54,800
	累計	20	94,400
賛 助	今月分	0	0
	累計	2	9,000
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接 遇	今月分	3	9,780
	累計	7	80,680
会 費	今月分	6	32,000
	累計	21	84,000
その他	今月分	0	0
	累計	2	6,800
合 計	今月分	18	99,580
	累計	61	344,080

◎くわしくは市のホームページに掲載しています。

問い合わせ 総務課 秘書係
☎75-2115

市長コラム

Message for citizen



市長「」コラム



「未来を予測する最善の方法は未来を発明することだ」。

これは、パーソナルコンピューターの父ともいわれ、教育者でもあるアラン・ケイ (Alan Key) 氏の言葉です。

あらゆる分野でこれまでにない変化が起こっています。これからどうなるかと心配したり、想像したりするのも人の常です。

今まさに、前例や常識、過去の成功モデルが機能しなくなっており、すべての子どもたちのこれからの指針ともなるものと評価されている言葉です。

彼はつづけてこう語ります。「未来は、あらかじめ引かれた線路の延長上にあるのではない。それは、われわれ自身が決定できるようなものであり、宇宙の法則に逸脱しない範囲で、我々が望むような方向に作り上げることもできる」。

未来創造に不可欠な4つのこと

市長 横尾 俊彦

そうなのです。不確定な未来を予知・予測することは困難ですが、未来を創ることを発意する、あるいは未来創造に参加・協力する。そして未来創造を可能にする。それが未来を見通すことになるということです。

明日がどうなるかと案じるのではなく、明日をどう創るかに日々新たに挑むことです。

未来創造には不可欠の4要素があります。①情熱(パッション)、②志・未来展望(ビジョン)、③使命観(ミッション)、④行動(アクション)です。

成し遂げたいビジョン(志)があり、それは自分のミッション(使命)ととらえ、行動(アクション)し、情熱(パッション)をもって続ける。4つは未来創造、人生充実に重要です。そんな思いを抱き、事に臨み、充実の時を重ねたいものです。